

## (25) 被服学教育における学士力の考察

被服学教育FD/IT活用研究委員会は、21年7月、9月、10月、11月の4回開催した。被服学分野では、単なる知識、技能を修得する教育でなく、被服のプランニングやニーズ把握、企画設計、維持管理を通じて問題解決を行い、生活を向上させる「力」を目指して検討した。その上で、サイバーFD研究員52人に意見を求めたところ、8人(15%)から意見が寄せられ、寄せられた意見を踏まえて、以下の通りとりまとめた。ここでは、「コア・カリキュラムのイメージ」、「測定方法」を割愛したので、詳細は資料編【資料5】を参照されたい。

### 【到達目標1】

被服の歴史・文化や被服の社会的、保健衛生的役割を理解し、被服の着用などによるイメージや感性の表現ができる能力を身に付けている。

#### 【到達度】

- ① 被服の歴史・文化・役割を理解し、被服の社会的、保健衛生的役割を論理的に説明できる。
- ② 被服のイメージや感性の表現ができる基礎能力を身に付けている。

### 【到達目標2】

人体を把握し、人体と被服との関係や被服構造を知り、被服の構成力を身に付け被服パターン設計に活用できる能力を身に付けている。

#### 【到達度】

- ① 人体の構造と機能を理解して、被服形態との関連を説明し、機能評価ができる。
- ② 被服構成の基礎を理解して、被服設計ができる。
- ③ 縫製の基礎的な知識と技術を身につけ、被服造形ができる。

### 【到達目標3】

被服材料の特性を理解し、被服設計への応用と被服デザインの着用表現ができる。

#### 【到達度】

- ① 被服材料の特性を理解している。
- ② 被服材料の特性を活かしたアパレルの設計ができる。
- ③ ファッションプレゼンテーションができる。

### 【到達目標4】

繊維、アパレル産業における生産、流通の仕組みと企画設計までのプロセスを理解することができる。

#### 【到達度】

- ① アパレル産業の構造と生産のプロセスを理解している。
- ② マーケティング手法について理解し、市場調査・分析の方法を身に付けている。
- ③ アパレル製品の情報収集、コンセプトの策定、デザインを考えることができる。

### 【到達目標5】

被服の生産、流通、消費における環境問題などを理解し、生活の質の向上を考えることができる。

#### 【到達度】

- ① 環境や社会への影響などを考えて、被服の選択、維持管理の方法を理解している。
- ② 省資源的ライフスタイルを意識した衣生活の向上を考えることができる。

#### (24) 被服学教育における情報教育

被服学教育FD/IT活用研究委員会は、学士力考察をとりまとめの後、21年12月、22年2月に2回開催した。検討では、被服に関する情報源からの情報収集・分析、3D計測、CAD、CGを用いたデザイン設計とプレゼンテーション、情報通信技術を用いたニーズ調査・商品企画などをとりあげた。

##### 【到達目標1】

被服の役割や構造を理解し、情報通信技術を用いて現代社会に適合した被服の設計やデザインを表現できる。

##### 【到達度】

- ① 被服に関する適切な情報（歴史・人体・被服構造・素材・管理）の所在を知っている。
- ② データベース、アーカイブス、文献等から適切に情報収集・分析できる。
- ③ 文書作成、表計算、画像処理などの情報技術を身に付けている。
- ④ 被服特有のアプリケーションソフトの活用ができる。
- ⑤ 情報通信技術を用いて、被服に関するプレゼンテーションができる。

##### 【教育内容・教育方法】

- ①と②は、被服に関する信頼できる情報源を理解させ、著作権に配慮した情報収集・分析の演習をさせる。
- ③と④は、汎用ソフトを含め、3D計測、CAD、CG、シミュレーションソフトなどを教え、実際に活用して被服のデザインや設計の実習をさせる。
- ⑤は、画像表現や造形表現ソフトなどを活用した作品をプレゼンテーションさせる。

##### 【到達度確認の測定手段】

- ①と②は、レポートなどにより知識と技術を確認する。
- ③～⑤は、作品の発表やプレゼンテーションなどにより確認する。

##### 【到達目標2】

被服の生産・流通・消費を通じた衣生活の質の向上に情報通信技術を活用できる。

##### 【到達度】

- ① 最新の産業構造や生産・流通の仕組みを理解するために情報通信技術を活用できる。
- ② 情報通信技術を用いて、ライフスタイルに合わせた商品開発ができ、衣生活の問題点を共有し、商品の品質向上につなげることができる。
- ③ 情報通信技術をローカルかつグローバルなシェアリングシステムやリサイクルシステムに活用できる。

##### 【教育内容・教育方法】

- ①は、Webサイトを活用して、生産・流通の現状を理解させるために、産業の変化について考えさせる。
- ②は、最新の産業情報や消費者ニーズを調査させ、問題発見や商品企画の提案をレポートさせる。
- ③は、コミュニケーションツールを用いて、将来の衣生活を見据えた新しいシステムを地球規模で考え、発信の模擬演習をさせる。

##### 【到達度確認の測定手段】

- ①と②は、レポートなどにより確認する。
- ③は、プレゼンテーション、ディスカッションなどにより確認する。